

## 基本目標3 環境学習と環境保全 への積極的行動の促進

すべての市民が環境  
について学ぶことがで  
き、具体的な活動に取り組みやすい  
地域社会を作るため、市内の小・中学  
校を対象に「環境教育推進校」を指定  
しました。また、公民館を会場として  
さまざまな環境問題をテーマに講座  
を開催しました。



公共施設では、地球環境に配慮し  
た学校として全国のモデル事業とも  
なった入間川小学校エコスクール・



1...環境学習の一環として、入間川で生態系の調査を行いました

### 調査に参加した入間川小学校6年生の感想から (一部抜粋・要約)

想像では、入間川の水は澄んでいて、すごくきれいだ  
と思っていたのに、とても汚なかった。それでも、魚が  
たくさんいて生きているから、すごいなぁと思った  
大きなコイが49匹も捕まったことと、カメが3匹いた  
ことにおどろいた。コイには、すみやすい環境なんだと  
思った。入間川にコクチバスがいることを勉強して、  
捕まえることになったけど、1匹しかとれなかった。ま  
だいると思うので、これ以上増えないようにするには  
どうすればいいか考えないといけないと思う。生態系  
をいったん崩してしまうと、元に戻すのが大変なんだ  
なぁと思った。入間川が泳いで遊べるくらいきれいにな  
るといいと思った。



太陽光・熱を利用しています

10月3日オープン！サンパーク奥富(詳細は2～3頁をご覧ください)

18頁に関連記事あり)に続き、自然エ  
ネルギーを積極的に活用した新工ネ  
ルギー施設「サンパーク奥富」を建設  
しています。

## 2 ISO14001・平成12年度の取り組み

市が率先して環境負荷を減らし、  
よりよい環境を作るために、全職  
員が一体となって取り組んでいます。  
具体的には、①日常の事務活動等に  
おける環境配慮②市庁舎の環境設備  
の適正管理③施策・事業における環  
境配慮の3項目を定めています。ま  
た、職員の意識を高めるための研修  
の実施、市長(環境管理統括者)によ  
るシステムの見直しを行い、環境に  
対する効果的な取り組みを行うた  
めに、継続的な改善を行っています。

① 日常の事務活動等における環境  
配慮

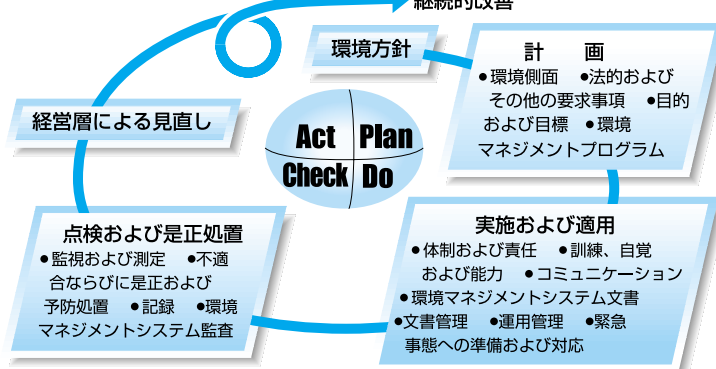


日常の事務の中で、  
率先して環境配慮を  
実行することを目的と  
する項目です。特に地球  
温暖化の原因物質であ  
る温室効果ガスの削減  
に取り組まれました。

② 市庁舎の環境設備の適正管理

市庁舎の環境設備を、環境負荷の  
低減や省エネルギー、リサイクルを  
考えながら適正に管理していくこと  
を目的とする項目です。冷温水発生

### システム体系



2 ISO14001: 国際標準化機  
構が制定する国際規格で、組織が事業活  
動を行ううえで環境に及ぼす影響を管理  
する(環境マネジメント)ことにより、環  
境に与える負荷やリスクを低減し、その  
発生を予防するための行動を継続的に改  
善していくシステム

機など、7設備について法令に基づ  
く基準の遵守や着実な点検を行い、  
環境設備の適正管理に努めました。

## 今後の展開。環境基本計画の見直しへ

### ③ 施策・事業における環境配慮

環境の保全・創造を目的とする市の施策や事業、公共工事について環境配慮を行ったための項目です。

施策・事業については、平成12年度は環境基本計画に基づく地球温暖化防止対策に関わる事業として、緑地保全や環境にやさしい製品の普及など25事業に取り組みました。公共工事については、工事を伴う総合振興計画の対象事業と予算額1千万円以上の事業計31事業について、リサイクル建材の利用、低騒音型機械の使用などの環境配慮に努めました。

### 日常の事務活動等における環境配慮・取組結果 本庁舎

取組事項	単位	平成11年度	平成12年度	削減率
温室効果ガス	kg CO <sub>2</sub>	1,188,799	1,185,583	0.3%
庁用車の燃料	ℓ	86,390	82,487	4.5%
都市ガス	m <sup>3</sup>	122,232	118,363	3.2%
電気	kwh	1,912,272	1,930,363	0.9%
紙	枚	2,809,734	2,420,319	13.9%
ごみ	g/1人1日	111	99	

### 本庁舎以外の公共施設(小・中学校を除く)

取組事項	単位	平成11年度	平成12年度	削減率
庁用車の燃料	ℓ	16,643	15,540	6.6%
LPG	m <sup>3</sup>	15,338	12,729	17.0%
都市ガス	m <sup>3</sup>	105,638	94,485	10.6%
A重油	ℓ	183,990	155,301	15.6%
軽油	ℓ	2,127	829	61.0%
灯油	ℓ	590,060	593,347	0.6%
電気	kwh	9,762,425	9,596,682	1.7%
紙	枚	662,838	535,968	19.1%
ごみ	g/1人1日	97	84	

### 主な取り組み事項

地球温暖化防止と健康のために、昇りは2階まで、下りは3階までエレベーターを使用しない「2up 3down運動」を実施しています。



職員一人一人に「個別リサイクルフォルダー」を配布し、事務机に取り付けることによって古紙リサイクルの徹底化を図っています。

その他、エレベーターの運転、冷暖房の稼働時間の調整や、昼休みの一斉消灯、使っていないパソコンなどの電源をこまめに切るなど、エネルギーの削減に努めています。

このように市では平成10年に策定した環境基本計画をもとに、さまざまな分野で環境問題に取り組んでいます。しかし、今日、地球温暖化の原因物質である二酸化炭素などの温室効果ガスの増加に代表されるように、対策を上回る速さで問題が深刻化しており、環境施策をより一層充実させることが必要です。今後は、地域環境の保全はもとより、地球規模での環境保全に率先的かつ継続的に

取り組むため、環境基本計画の見直しを行い、環境の世紀である21世紀の環境先進都市を目指します。20世紀が残した環境の負の遺産を解消し、自然と市民が共生できる持続可能な社会とするため、環境問題が私たちの日常生活や事業活動と深く結び付いていることを踏まえ、社会経済活動やライフスタイルの見直しを図るなど、市民、事業者の皆さんのより一層のご協力をお願いします。

環境審議会委員を募集中です。環境基本計画と環境保全に関する基本的事項について、幅広い方がたからの意見を基に調査審議するため、環境審議会を設置しています。現在、環境審議会委員を公募していますので、環境に興味のあるかたは、ぜひ委員として市の施策に関わってみませんか。

任期11月1日～平成15年10月31日  
対象9月1日現在、市内に引き続き1年以上居住する、20歳以上70歳未満のかた。ほかの審議会委員になつていないかたを除く。定員3名。申し込み9月20日(木)までに応募用紙(環境政策課・公民館・出張所・図書館に用意。狭山市公式ホームページからもダウンロードできます)に記入し、小論文(地球温暖化について思うこと)(1千字程度)と合わせて市役所3階環境政策課へ

今回ご紹介した、狭山市の環境への取り組みについては、「環境レポート」として、市役所環境政策課、2階行政資料室・公民館出張所、図書館で閲覧・入手できます。よりよい狭山市の環境のため、皆さんのご意見をお寄せください。

問い合わせ環境政策課へ内線3671